

自動減圧系機能検査の概要

＜本システムの役割＞

中小規模の冷却材喪失事故の際に、炉圧の低下が小さいにもかかわらず、高圧注水系等の機能が十分に発揮されず原子炉の水位を維持することができない場合に、強制的に主蒸気逃がし安全弁を開いて原子炉の炉圧を早く減圧させ、低い炉圧で注入が可能な非常用炉心冷却系（低圧注水系及び炉心スプレイ系）による注水を促し、炉心の冷却を行うことで燃料の破損を防止する。本システムは、高圧注水系の後備機能を果す。

＜検査の目的＞

冷却材喪失事故信号により自動減圧系機能を装備した主蒸気逃がし安全弁が開くことでシステムの性能が発揮されることを確認する。

＜検査の手順＞

冷却材喪失事故信号を模擬し、自動減圧系機能を装備した主蒸気逃がし安全弁が所定の時間内に完全に開くことを確認する。

自動減圧系機能検査の概要

